

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	054	計画的な土地利用の推進				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	将来を見据えた計画的なまちづくりが市民との協働により進んでおり、安全で快適な住みよいまちになっています。					
SDGsとの関連	  					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	42,044,000	32,669,000	26,057,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	6,440,000	5,312,000	4,530,000			
市債	0	0	0			
その他	2,300,000	2,400,000	2,800,000			
一般財源	33,304,000	24,957,000	18,727,000			
予算現額	41,761,000	32,669,000	0			
決算額	39,773,586	28,848,605	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	5,230,000	4,001,000	0			
市債	0	0	0			
その他	2,000,000	1,000,000	0			
一般財源	32,543,586	23,847,605	0			
執行率	95.2	88.3	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	6.36	6.25	0.00			
職員人件費	49,857,863	49,995,756	0			
月額制会計年度任用職員数	1.00	1.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	3,218,116	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	406,888	455,301	0			
総コスト	93,287,029	82,517,778	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 市民提案による地区計画の指定面積（累計）	44 ha	実績 達成率	44 28.0	- 0.0	- 0.0	- 0.0	157.4
② 今後も市内に住み続けたいと思う市民の割合	93.4 %	実績 達成率	93.4 99.9	- 0.0	- 0.0	- 0.0	93.5
		実績 達成率					
		実績 達成率					

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	なし	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	なし	市民が主となる北山町・西原町地区まちづくり協議会及び、新町・栄町地区まちづくり協議会において、市民提案による地区計画の案を検討しており、目標通り進められた。計画的な土地利用の推進を図れたため、今後も市内に住み続けたいと思う市民の割合が現状維持できた。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	地域まちづくり事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ							B	1										
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)										
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)										
① 住民提案型地区計画の累積決定面積	44	計画値	44	44	137	137	137	1	2	3	4	5	6	7	8			
	ha	実績	44	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容		住民提案型地区計画の検討を、北山町・西原町地区まちづくり協議会及び、新町・栄町地区まちづくり協議会で進めており、令和6年度に決定する予定。																
		計画値						要因の種類(※)										
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																		
事務事業名称	市街地整備計画策定事業(立地適正化計画策定事業)		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ							A											
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)										
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)										
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8			
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																		
		計画値						要因の種類(※)										
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名				事業種別											
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)										
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)										
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8			
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																		
		計画値						要因の種類(※)										
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	用途地域等の一括変更（素案）を作成し市民に公表した。 2地区のまちづくり協議会が進める地区計画の案の検討の支援を行った。			
今後の展開	都市計画マスタープランを実現するため、地域の特性に応じたまちづくりを進めていく。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
まちの特性に応じた市民主体によるまちづくりルールの策定や、まちづくりに関する意見交換会・オープンハウス等のイベントに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
北山町・西原町地区及び新町・栄町地区において、地区計画の案を市民とともに作成する。用途地域一括変更の変更案を市民への周知するため、オープンハウスを行う。	北山町・西原町地区まちづくり協議会において地区計画の案を検討する。新町・栄町地区まちづくり協議会において地区計画の案を検討する。用途地域の変更案をオープンハウスにおいて市民へ周知する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
用途地域等の一括変更（素案）を作成し市民に公表した。 2地区のまちづくり協議会が進める地区計画の案の検討の支援を行った。	協働による実施を検討した	2地区のまちづくり協議会が進める地区計画の案の検討の支援を引き続き行う。

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	055 適正な開発事業の誘導
総合計画	基本目標 IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業） 基本施策 01 快適で住みやすいまちづくりの推進
めざす姿	主担当部課名 都市整備部 計画課 市民・事業者・市の協働により、府中市地域まちづくり条例及び土地利用方針等に基づく適正な土地利用及び周辺環境に配慮した良好な開発事業が進められ、地域特性をいかした住みよいまちづくりが行われています。
SDGsとの関連	   

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	1,435,000	1,460,000	1,529,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	54,000	67,000	68,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	1,381,000	1,393,000	1,461,000			
予算現額	1,828,000	1,460,000	0			
決算額	1,480,052	730,557	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	58,000	62,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	1,422,052	668,557	0			
執行率	81.0	50.0	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	3.69	3.25	0.00			
職員人件費	28,917,560	25,997,793	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	203,943	204,100	0			
総コスト	30,601,555	26,932,450	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値		
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度			
① 開発事業と併せて地区計画等を決定した累計件数	19 件	実績 22	達成率 91.7	実績 -	達成率 0.0	実績 -	達成率 0.0	24
		実績		実績		実績		
		達成率		達成率		達成率		
		実績		実績		実績		
		達成率		達成率		達成率		

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	なし	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	なし	毎年1件以上の地区計画等を決定することに対し、景観協定を1件認可し、目標達成に向け進捗している。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	開発誘導事業		主担当部課名	都市整備部 計画課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									A									
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
大規模土地取引行為及び土地 ①土地利用構想における助言又は 指導件数	3	計画値	3	3	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	4	-	-	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		届出に対して、当該地の土地利用方針に沿うよう助言又は指導を行った。																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	開発事業者と協議を行い、1件の景観協定を認可した。			
今後の展開	開発事業において良好なまち並みが形成されるよう協議するとともに、地区計画等の活用について協議を行う。			

## 4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
地域まちづくり条例や開発事業に関する指導要綱、開発事業まちづくり配慮指針等の理解・普及に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
地域まちづくり条例や土地利用方針等に基づく適正な土地利用及び周辺環境に配慮した良好な開発事業を進める。	引き続き、土地利用方針に基づいた良好な開発事業となるよう協議・指導を行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
地域まちづくり条例に基づく協議を行った。	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	引き続き、土地利用方針に基づいた良好な開発事業となるよう協議・指導を行う。

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	056	質の高い建築物の確保				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる uringおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 建築指導課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	良好な建築行為の確保及び建築物の維持管理により、災害に強い誰もが安全で快適に暮らせるまちが形成され、かつ、建築物の長寿命化や省エネルギー化、低炭素化がなされ、環境に配慮したまちが形成されています。					
SDGsとの関連						

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	9,199,000	19,775,000	20,231,000			
国庫支出金	0	5,049,000	6,003,000			
都支出金	2,018,000	4,280,000	2,518,000			
市債	0	0	0			
その他	7,181,000	6,034,000	9,863,000			
一般財源	0	4,412,000	1,847,000			
予算現額	9,199,000	19,791,000	0			
決算額	7,505,246	14,899,225	0			
国庫支出金	0	2,678,000	0			
都支出金	1,165,063	2,899,265	0			
市債	0	0	0			
その他	6,340,183	7,638,467	0			
一般財源	0	1,683,493	0			
執行率	81.6	75.3	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	11.90	11.57	0.00			
職員人件費	93,234,203	92,543,256	0			
月額制会計年度任用職員数	2.33	2.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	7,569,452	6,436,232	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	2,054,360	1,997,986	0			
総コスト	110,363,262	115,876,699	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 検査済証交付率	99.4	実績	-	-	-	100
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	
② 定期調査報告に係る特定建築物の報告率	85.1	実績	83.46	-	-	100
	%	達成率	83.5	0.0	0.0	
③ 長期優良住宅認定率	21.8	実績	25.26	-	-	35
	%	達成率	72.2	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				

指標の分析	
外部要因の分析	外部要因を加味した実績の評価
<b>社会経済動向</b> 環境に配慮した、災害に強い誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりが求められている。	<b>評価</b> 目標達成に向け順調に進ちよくした 概ね目標を達成した。
<b>国・都の政策</b> 国土交通省は2050年カーボンニュートラルに向け、住宅・建築物の省エネルギー対策と建築基準のあり方を大幅に見直している。	
<b>市民ニーズ</b> 税制優遇などが受けられるほか、不動産として付加価値が付くことで、住み替えなどの際に有利になる。	

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	特定行政庁所管業事業		主担当部課名	都市整備部 建築指導課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 違反建築物取締り件数	3	計画値	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	16	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		市内パトロールが不足していたため、違反建築の抑制を図ることができなかった。														
② 定期調査報告に係る防火設備の報告率	69.6	計画値	72	74	76	78	78	要因の種類(※)								
	%	実績	71.15	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
事務事業名称	建築指導等事務		主担当部課名	都市整備部 建築指導課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 低炭素建築物新築等計画認定件数	20	計画値	30	35	40	45	45	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	48	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		CO2削減の社会情勢の機運が高まり、住宅を供給する側と購入する側のニーズが高まって来ている。														
② 省エネルギー計画届出件数	40	計画値	42	44	46	48	48	要因の種類(※)								
	件	実績	37	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
事務事業名称	マンション適正管理促進事業		主担当部課名	都市整備部 住宅課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 分譲マンション管理無料相談会での相談累計件数	8	計画値	24	40	56	72	72	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	26	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
要因の具体的内容		令和4年度は、相談会の開催について一定の管理組合に対して郵送により直接周知するとともに、マンション管理適正化法の改正等のマンションを取り巻く環境の変化も加わり、想定を上回る相談件数となった。														
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	▽建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化に係る建築物の認定制度については、ホームページなどを活用し普及啓発を図ることができた。 ・改正マンション管理適正化法に基づき、管理計画認定制度を開始した。			
今後の展開	今後の法改正が進み、更に長寿命化、小エネルギー化の需要が高まるので、 ・マンションの管理状況等を把握するため実態調査を実施する。			

## 4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
長寿命化や省エネルギー化による快適で質の高い、環境に配慮した建築物の計画に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
長寿命化や省エネルギー化による快適で質の高い、環境に配慮した建築物は具体的には、長期優良住宅や低炭素建築物、建築物省エネ法に定める基準に適合した建築物である。そのため自宅を新築する際などに長期優良住宅などの制度活用してもらえよう、市民に周知する。	今年度は、長期優良住宅などのパンフレットを建築指導課の窓口において啓発を行った。 来年度以降は防災訓練や商工まつりなどでこれらの周知を図りたい。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
長期優良住宅などのパンフレットを建築指導課の窓口において啓発を行った。	未着手	長期優良住宅などのパンフレットを建築指導課の窓口において啓発を図るとともに、そのほか各種イベントで周知を図る。

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	057	魅力ある景観の保全・形成				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる uringおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	景観啓発活動や景観賞の実施により、市民の景観に対する理解が深まり、市民・事業者・市の協働によって地域特性をいかした優れた景観が形成・保全されています。					
SDGsとの関連	 					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	4,755,000	12,926,000	10,276,000			
国庫支出金	2,348,000	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	1,907,000	10,400,000	3,615,000			
一般財源	507,000	2,526,000	6,661,000			
予算現額	4,755,000	12,926,000	0			
決算額	4,433,930	10,776,700	0			
国庫支出金	2,189,000	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	1,000,000	7,950,000	0			
一般財源	1,244,930	2,826,700	0			
執行率	93.2	83.4	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	1.40	1.75	0.00			
職員人件費	10,968,730	13,998,812	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	77,358	109,900	0			
総コスト	15,480,018	24,885,412	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 開発事業等における景観協定累計面積	26.5	実績	27.1	-	-	-	28
	ha	達成率	96.8	0.0	0.0	0.0	
② まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合	47.3	実績	63.5	-	-	-	60
	%	達成率	105.8	0.0	0.0	0.0	
③ 景観やユニバーサルデザインに配慮した公共サインの整備地区数	1	実績	1	-	-	-	14
	地区	達成率	7.1	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	なし	評価	目標達成に向け順調に進捗した
国・都の政策	なし	開発事業者と協議を行い、1地区の景観協定を認可するとともに、公共サインの整備に向けた整備計画や1期エリアの配置計画の作成を行い目標達成に向け進捗した。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	開発事業における景観形成誘導事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	計画値	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 開発事業における景観協定締結協議件数	3	計画値	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
要因の具体的内容		まとまった面積の開発事業が少なく、協議する件数も少なかった。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	景観政策推進事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							A								
指標名	基準値 (単位)	計画値	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 景観啓発に関するイベント等の開催回数	1	計画値	1	1	1	1	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	1	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容		景観計画改定に伴うオープンハウスを実施した。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	公共サイン整備事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	計画値	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじまないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	1 地区の景観協定について認可を行った。また、公共サインについては、整備計画と第1期エリアの配置計画を作成した。			
今後の展開	開発事業に併せて景観協定について協議するとともに公共サインの整備に向けた実施設計及び配置計画の作成を行う。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
魅力的な景観づくりに向けた意識啓発や、良好な景観の形成・保全に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
近年、市民の景観に対する意識が低くなっている中で、意識啓発を行い、魅力的な景観づくりに取り組む。	景観計画を改定し、各施策を実施する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
景観計画を改定し、周知を図るためオープンハウスを開催した。	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	景観啓発に関する取組について検討を行い、令和6年度以降実施していく。

# 施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

## 1 施策の目的等

施策名	058	公共交通の利便性の向上
総合計画	基本目標 IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業） 基本施策 01 快適で住みやすいまちづくりの推進	主担当部課名 都市整備部 計画課
めざす姿	鉄道やバス、タクシーなどの公共交通ネットワークが形成されるとともに、バリアフリー化や情報化が進むことにより、誰もが公共交通を快適に利用することができる環境が整っています。	
SDGsとの関連	  	

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	237,030,000	278,470,000	233,713,000			
国庫支出金	4,856,000	0	0			
都支出金	616,000	38,666,000	2,838,000			
市債	0	0	0			
その他	8,700,000	40,100,000	39,400,000			
一般財源	222,858,000	199,704,000	191,475,000			
予算現額	220,926,000	276,744,000	0			
決算額	198,963,298	272,187,000	0			
国庫支出金	0	13,940,000	0			
都支出金	596,000	41,201,000	0			
市債	0	0	0			
その他	11,000,000	40,000,000	0			
一般財源	187,367,298	177,046,000	0			
執行率	90.1	98.4	0.0			
<b>(人件費)</b>						
職員数	2.55	2.50	0.00			
職員人件費	19,943,145	19,998,303	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	140,651	157,000	0			
総コスト	219,047,094	292,342,303	0			

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① コミュニティバスの年間利用者数	1,466,769	実績	1,943,039	-	-	1,781,000
	人	達成率	109.1	0.0	0.0	
② 鉄道駅におけるホームドアの設置数	0	実績	2	-	-	6
	列	達成率	33.3	0.0	0.0	
③ 公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合	66.7	実績	70.7	-	-	70
	%	達成率	101.0	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者が減少傾向にあったが、一定の水準まで回復している。しかし、生活様式の変更によりコロナ前の利用者数の水準までは戻らないことが懸念されている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	なし	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、コミュニティバスの年間利用者数の基準値を設定していたが、当初の予定より利用者数が回復傾向にある。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	コミュニティバス運行補助事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① コミュニティバス運行事業補助金(運行業務費分)の累積交付件数	1	計画値	1	2	3	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容		コミュニティバス運行事業(運行業務費分)1件の補助金を交付した。													
② コミュニティバス運行事業補助金(停留所等整備費分)の累積交付件数	1	計画値	1	2	3	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容		コミュニティバス運行事業(停留所等整備費分)1件の補助金を交付した。													
事務事業名称	鉄道駅整備事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 鉄道駅整備事業補助金の累積交付件数	1	計画値	1	2	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容		東日本旅客鉄道株式会社が実施するJR南武線府中本町駅の2面2線をホームドアを整備する事業に対して、その費用の一部に補助金を交付した。													
	計画値							1	2	3	4	5	6	7	8
	実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	地域公共交通計画推進事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							A								
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 府中市地域公共交通ネットワーク再編計画の累積策定件数	0	計画値	0	0	0	1	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	-	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容		令和5年度の地域公共交通計画の策定に向けて、府中市地域公共交通協議会から答申を受けた。													
	計画値							1	2	3	4	5	6	7	8
	実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通計画の策定作業を進め、府中市地域公共交通協議会から計画案の答申を受けた。</li> <li>○コミュニティバス運行事業に対し、補助を行った。</li> <li>○J R南武線府中本町駅の2面2線にホームドアを整備する事業に対して、その費用の一部に補助金を交付した。</li> </ul>			
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通計画については答申を踏まえて令和5年夏頃の策定を目指す。</li> <li>○引き続き、コミュニティバス運行事業に対し、補助を行う。</li> <li>○鉄道事業者が実施するホームドア整備等に対し、補助を行う。</li> </ul>			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
持続可能な公共交通ネットワークの形成に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
令和5年度に策定する府中市地域公共交通計画に基づき、交通施策における市民・企業・団体等との協働を推進する。	市民協働の視点を含む府中市地域公共交通計画を検討する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
府中市地域公共交通協議会において、市民、公共交通事業者の意見を踏まえて計画の策定作業を進めた。	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	府中市地域公共交通計画に市民協働に関する記載を加え、当該計画に基づく事業の実施を検討する。